



あいじっ



開校 144 周年

第二言語として英語を学ぶ

校長 水野 睦子

小学校では、「外国語活動・外国語」の時間に『英語』を勉強します。何故、『英語』なのでしょう。私は、「英語が世界で最も話されており、影響力のある言語だから」と考えます。世界の人口は約82億人です。英語を母語としているのは約4億人。しかし、英語が公用語・準公用語等となると、54カ国、約21億人にもものぼります。世界の約4分の1の人が英語を使って仕事をしたり、学んだりしていることになります。

日本の首都東京、国際都市新宿には、多くの外国人が来日し、また住んでいます。愛日小学校の子どもたちには、英語でどんどん話したり、相手の話を聞いたりして、自分の世界を広げてほしいと願っています。たとえば、直接英語を使うことが少ないとしても、外国人の方々が母語でない第二言語として日本語を習得する苦労が分かることで、相手の立場に立って物事を考えたり、優しく接したりすることにつながると思うのです。

令和7年度は、全校で「外国語活動・外国語」に力を入れて取り組みます。英語を学ぶことが楽しい！英語で話してみたい！と感じさせることで、英語をより身近に感じ、主体的に学ぶ力につなげていきたいと考えています。そのために、東京・新宿・愛日小学区域のリソースを最大限に生かし、子どもたちが少しでも英語に触れる機会が増えるよう取り組んでまいります。保護者や地域の皆様には、ご協力やお力添えをお願いすることもあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

今年度一年間、本校教育活動に対してご理解・ご支援をいただき、ありがとうございました。愛日小学校に関わる全ての人が幸せを感じる学校、そして、子どもたちの笑顔が溢れる毎日行きたくなる楽しい学校となるように、教職員一同「チーム愛日」として、引き続き努めてまいります。

卒業に向けて

担当 6年

6年生は、いよいよ愛日小学校で過ごす日々も20日を切りました。2月28日（金）には、六年生を送る会、3月3日（月）には中学校体験入学があり、これまでの締めくくり、そして新たなステージへの準備が始まっています。小学校6年間の課程を終え、それぞれが新しい道を歩もうとしています。

卒業に向けて、残り少ない日々だからこそ、どう過ごすかが大切になってきます。自分自身をしっかりと見つめなおし、日々の生活、学習にもう一度丁寧に取り組むことで、卒業式に向かう姿勢も大きく変わってきます。小学校生活はここで終わりますが、子供たちの未来はまだまだ続いていきます。卒業式では、これまでの感謝の気持ちを胸に、堂々とした立ち振る舞いを見せてほしいです。小学校生活で成長した姿を卒業式で見せられるよう指導していきます。

相談室より

スクールカウンセラー 佐野 三浦

令和6年度の相談室は、都SC火曜・区SC月木曜の開室でした。年間延べ400件以上の利用があり、子どもたちを取り巻く環境の複雑さ・過酷さを身に染みて実感しています。

休み時間は、子どもたちが話したい時に利用できる時間。私たちカウンセラーは、日々の子どもの想いを受け止め、誠心誠意向き合っています。時には、子どもたちにとっては聞きたくない言葉も言うでしょう。それでも、子どもたちの未来のために必要だということを伝えます。“一人じゃない”と思えることが、時に支えとなり、そして強くなれる瞬間ではないかと思うのです。

今年度もあと数週間。子どもたちが笑顔で新年度を迎えられるように…。

これからも全身全霊で向き合っていきます。